

令和2年度新潟県内3国立大学法人工事入札監視委員会 議事概要

開催日及び場所	令和2年12月2日(水) 新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」	
委員	委員長 小田 茂達(公認会計士) 委員 上野 美紗(上野住宅建材(株)常務取締役) 委員 平山 桂子(新潟県建築士会新潟支部相談役) 委員 山田 寿(弁護士)	
審議対象期間	令和元年7月1日～令和2年6月30日	
抽出案件(合計)	6件	(備考)
建設工事・業務(小計)	6件	今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。
一般競争入札 (政府調達に関する協定適用対象工事・業務)	0件	
一般競争入札(上記工事・業務を除く)	6件	
工事希望型競争入札	0件	
通常指名競争入札	0件	
随意契約	0件	
設計・コンサルティング業務(小計)	0件	
簡易公募型プロポーザル方式(拡大)	0件	
標準型プロポーザル方式	0件	
随意契約	0件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申または勧告の内容	なし	

意見－質問	回答
<p>議事に先立ち、資料確認（差替資料について、資料修正箇所について、追加資料について説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考資料3「一般競争参加資格について」、参考資料4-1「平成30年度入札監視委員会建設工事及び設計・コンサルティング業務一覧表」、4-2「令和元年度入札監視委員会建設工事及び設計・コンサルティング業務一覧表」については、昨年の本委員会の講評において、確認するよう指示があったため、資料として用意した旨説明。 ・質問、意見等なし。 <p>新潟大学施設管理部長の挨拶、委員紹介、小田茂達委員が互選により委員長に決定したことの報告</p> <p>建設工事及び設計・コンサルティング業務の審議対象工事案件について</p> <p>「新潟県内3国立大学法人において令和元年7月1日から令和2年6月30日に契約した建設工事及び設計コンサルティング業務の審議対象工事案件について、資料1-1に基づき、入札方式、件数落札率。資料1-2に基づき各法人の入札数、表の項目について説明。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>審議対象工事案件における抽出について</p> <p>「審議対象工事案件における抽出方法及び抽出案件6件について説明」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	

意見－質問	回答
<p>抽出案件の審議</p> <p>「①（西大畑）附属新潟小中学校オープンスペース空調設備工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 14頁の「実績評価採点表」中、長沼冷暖房(株)の小林氏の工事成績欄に「実績なし」の工事があるのはなぜか。 ・ 16頁の「入札調書」中、基準評価値以下（或いは予定価格以上）の入札があった場合、どの項目がオーバーしているかの検証はしているのか。 ・ 11頁「競争参加資格等について」中、C等級のほか、2級上位のA、B等級も含めているが、これでよいのか。 ・ 17頁「一般競争入札方式の手続き日程」中、予定価格算出内訳（部長決裁）期限とあるが、実態としてどの時点で決められているのか。 <p>「②（旭町）旧RⅠ共同利用施設改修その他工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 19頁「入札調書」中、業者の辞退の理由は如何に。 ・ 2回目の入札で落札せず、見積合せとなっているが、予定価格との開きがあったことについて何か理由は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事に従事した実績はあるが、現場代理人や主任技術者とは違う立場だったため、実績なし としている。 ・ 予定価格との違いについては参考見積書の比較表を作りチェックしている。 ・ C等級だけで十分応札者が見込まれる場合は基本C等級だけということもあり得るが、学内規程で僅少と見込まれる場合は、本学の契約事務実施細則で最大2級上位まで含めて公告してよいことを定めている。 ・ 公告を出す時点で決められている場合もあるが、公告の時点では概算額を把握しているという場合が多い。公告後、業者から質問書が提出され、仕様書等の修正を行い積算に反映させるため、開札前に予定価格を定めることが多くなる。 ・ 別の工事と技術者が重複したため（新潟大学の工事を）辞退したと聞いている。 ・ こちらの積算よりも、電気設備、機械設備の機器の金額が、（量が少ない等の理由で）下がっていなかったため。

意見－質問	回答
<p>・ 第2回入札、第1回見積合せの際、どの項目を落とす（落とせる）かの検証（検討）を行ったか。或いは当初の設計どおりか。</p> <p>「③（旭町）医学系校舎共同研究棟他改修機械設備工事【再度入札公告】」</p> <p>・ 参加者が少ないこと及び辞退の理由は。</p> <p>・ 公告を出す前に、業者に声かけすることはあるのか。</p> <p>・ 1者入札が（3大学で）約20%あるが、入札業者を増やす手立ては何かしているか。</p> <p>・ 他の地域、自治体と比べて1者入札の割合はどうか。</p> <p>・ この案件は再度入札公告を行っているが、予定価格は1回目と2回目は同じ金額か。</p>	<p>・ 積算上の考えの相違について業者からヒアリングを行った上で、修正した見積を入れていただき、予定価格についても再設定している。</p> <p>・ 発注時期はもう少し早ければ多かったかもしれないが、この期間は自治体等でも工事件数が多く、代理人が付けられないという理由が大きかった。 辞退の理由は、他の工事を受注したことにより技術者を配置できなくなったため。</p> <p>・ 文部科学省のHPに工事予定が出ているので、業者からの問い合わせも来る。HPに載せている範囲内での説明はしている。</p> <p>・ 1度公募をかけて少ない場合は、次回は要件を緩和したり、地域要件や等級範囲を拡大したりしている。</p> <p>・ 新潟県内に限らず、東京地域でも似たような割合。また、予算の内容で工事内容も決まるので、特定の工事に集中し、他の工事の参加者が少なくなっていると考えられる。</p> <p>・ 1回目の公告の入札で、業者との開きの部分が明らかになっているので、それを踏まえた上で仕様の見直しを行い予定価格を設定している。</p>

意見－質問	回答
<p>「④ライフライン再生（さく井設備）工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最低基準価格を設けているのはなぜか。あとこの基準価格よりさらに安い金額で落札されているが、その（開きの）理由は。 ・新たに掘った井戸と修理した井戸があるが、地層部分の図面が添付されているということは、すでに調べが付いていたということか。 ・5者のうち、4者がかなり低い金額で入札しているが、予定価格が高かったという見方はなかったのか。 ・一般に、業者から見積もりを取って積算の根拠としているとのことだが、通常そのようにされているのか ・積算基準の金額でなく、6者取った見積もりの方を予定価格に反映させているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・極端に安い金額では工事の質が保たれない恐れがあるため、工事最低基準価格の設定を行っている。 製品を安価で調達することが可能であることや、諸経費の積算方法の考え方の違い等が理由として考えられる。 ・新たに掘り直した7号井戸は、既設井戸の脇に掘り直したので水が出ることは想定できた。修理した5号井戸と共に、事前の調査により地下水があることは確認済である。 ・本工事の予定価格は、専門業者6者から実勢価格として徴取した参考見積を基に積算しているので、妥当な予定価格だったと考えている。 ・本学の工事費積算は、文部科学省の積算基準に基づき積算することとされている。それによれば物価資料や公共工事複合単価で積算するが、そこでは差が生じ難い。積算基準に掲載されていない項目については3者以上の見積もりを徴取することになっている。特にさく井は見積もり徴取項目の多い工事である。 ・見積もり金額が大きく反映されているということ。なお今回落札した業者は、参考見積もりを取っていなかった業者である。参考見積は新潟県内のさく井業者から徴取したが、落札したのは山形の業者であった。新潟県内での実績作り等、強い受注意欲があり、戦略的な価格で入札されたのではないか。

意見－質問	回答
<p>「⑤附属図書館等改修電気設備工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加要件をかなり緩めているように思えるが、なぜ1者入札になったのか。 ・総合評価項目で、当該業者の配置予定技術者の評価点が「0点＝過去4年間の平均点が72点未満（含実績無し）」となっている理由は。 <p>「⑥（山屋敷）ライフライン再生（給排水設備）実施設計業務」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業者の入札金額にかなりの幅があるが、実施設計業務の予定価格はどのように積算しているのか。 <p>その他 「再苦情処理の申し立て状況等」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ・同時期に、上越市発注の公立学校への空調設備設置工事が多数あり、そちらの方に多くの技術者がとられた。そのため、上越市発注工事が終わる頃（9月）に入札日を設けたが、市の空調工事の工期が延びたため、技術者不足で業者が参加できず、結果として1者入札となった。 ・上越地域の特殊事情として、土木工事以外の国の発注工事は、本学に限られている。本学は開学40年であり大規模改修はこれからとなっている。よって本学発注の大きな工事がなかったことから、地元の業者は工事成績を持っていない業者が多い。今後本学の大規模改修工事の実績を持つ業者が増えていけば、徐々に解消される。 ・公共工事の積算基準に基づき積算している。落札金額との開きはあるが、他の6者の金額と比べてみても妥当な予定価格であったと考える。 入札金額の幅については、地中部分の調査価格の部分で、業者間の金額の差が生じたのではないかと考えているが、落札者については、会社の実績を作るという戦略的な価格で応札したのではないかと考えている。

意見－質問	回答
<p>講評事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年お願いした「入札監視委員会審議対象工事案件一覧」の過去3年分資料や、入札参加資格要件の業者のランクについての資料を用意していただいたのがよかった。 ・ 資料について、工事の仕様書、図面等字が細かく読みづらかったので、字を大きくして頂きたい。 <p>併せて資料の配付が直前（委員会の2日前）だったので、もう少し早く頂きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1者入札の割合が多い事が気になるので、今後の課題としていただきたい。 	